

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社デントス

上場取引所

(東)・名・福・札

コード番号 6174

URL <http://www.dentas.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)河野 恭佑

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)大崎 隆 (TEL) (088)657-3115

定時株主総会開催予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 -

発行者情報提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 (無)

決算説明会開催の有無 : 有 (無)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	859	△4.2	△48	-	△45	-	△43	-
2023年3月期	897	29.0	△44	-	△25	-	△27	-

(注) 包括利益 2024年3月期 △47百万円(-) 2023年3月期 △30百万円(-)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△106 91	-	△297.6	△7.5	△5.6
2023年3月期	△66 70	-	△52.5	△3.7	△4.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	562	16	△1.2	△448 82
2023年3月期	650	63	5.6	△340 63

(参考) 自己資本 2024年3月期 △7百万円 2023年3月期 36百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△19	△30	△48	83
2023年3月期	21	△13	△7	181

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0 00	0 00	-	-	-
2024年3月期	-	0 00	0 00	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	0 00	0 00	-	-	-

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なるA種類株式(非上場)については、配当を行いません。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,065	24.0	14	-	11	-	10	-	24 77	

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 -社 除外 -社 : 有・**無**

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・**無**  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・**無**  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・**無**  
④ 修正再表示 : 有・**無**

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年3月期	406,666株	2023年3月期	406,666株
2024年3月期	1,300株	2023年3月期	—株
2024年3月期	406,059株	2023年3月期	406,666株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド関連事業及び輸出企業の好調な業績を受け、日経平均株価は一時4万円を突破し過去最高値を更新しました。また新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行され日常生活及び経済活動は正常化したものの、ウクライナ情勢等の長期化に加え中東情勢の不安定化による世界的な経済活動の停滞と、原油・原材料価格の高騰、米国の大統領選挙、及び中国・台湾問題の地政学的リスクの高まり等も相俟って、景気の先行きは依然不透明な状況で推移しております。

また、当社グループが事業を営む歯科技工業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響はなくなりつつあるものの、円安や地勢学的リスクによる金属をはじめとする原材料価格の高騰等により厳しい状況が続いております。

こうした事業環境のもと、当社グループは引き続き経営体制の見直しと共に、赤字の早期解消に向けて経費の全面的な見直し、歯科技工現場における原価圧縮施策等の経営合理化を行うとともに、新たな収益の柱とすべく当連結会計年度より開始したマウスピース矯正事業の育成に努めてまいりました。

以上の結果、売上高につきましては、859,872千円（前年同期比4.2%減）、営業損失は48,513千円（前連結会計年度は営業損失44,418千円）、経常損失は45,731千円（前連結会計年度は経常損失25,197千円）となりました。最終損益については、親会社株主に帰属する当期純損失は43,412千円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純損失27,126千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### (歯科技工関連事業)

当セグメントの売上高は299,987千円（前年同期比9.6%減）、セグメント損失27,637千円（前連結会計年度はセグメント損失18,625千円）となりました。

#### ・歯科技工

新型コロナウイルス感染症の影響による歯科クリニックの患者数減少は回復したものの、競争の激化による一部取引先からの受注減少の影響により、当連結会計年度における売上高については206,060千円（前年同期比10.6%減）という結果になりました。

#### ・歯科技工商品・製品販売

昨今の原材料価格の高騰により仕入価格は上昇傾向にあります。一部商品について仕入価格の値上がり分を販売価格へ転嫁することが難しく、当連結会計年度における売上高は52,523千円（前年同期比2.5%減）と、前連結会計年度からほぼ横ばいとなりました。

#### ・歯科関連商品販売

AED他、歯科関連商品の販売により、当連結会計年度における売上高は30,080千円（前年同期比17.1%減）となりました。

(オーラルケア製品製造販売事業)

子会社のアイオニック株式会社における、イオン歯ブラシを主とするオーラルケア製品の販売減少により、当セグメントの売上高は530,425千円(前年同期比8.1%減)、セグメント損失は11,317千円(前連結会計期間はセグメント利益2,974千円)となりました。

\*イオン歯ブラシ：内蔵されたりチウム電池から10～50マイクロアンペア(10万分の10～50アンペア)の微弱電流(マイナスイオン)を流して、虫歯・歯周病・口臭の原因となる「歯垢」を効率的に取り除く歯ブラシ

(マウスピース矯正事業)

当連結会計年度より、株式会社デンタスにおける新規事業としてマウスピース矯正事業を開始しております。この結果、当セグメントの売上高は40,782千円、セグメント利益は19,046千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債および純資産の状況は、次のとおりであります。

(ア) 流動資産

流動資産は398,293千円となり、前連結会計年度末と比較して、87,137千円減少(前期末比18.0%減)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・現金・預金が前連結会計年度末から98,461千円減少する一方、受取手形及び売掛金が30,293千円増加したことによるものであります。

(イ) 固定資産

固定資産は164,418千円となり、前連結会計年度末と比較して550千円減少(前期末比0.3%減)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・有形固定資産が669千円増加しました。

これは主に、アイオニック株式会社における設備投資(歯ブラシ用金型の購入)による増加の一方、減価償却が進んだことによるものであります。

- ・無形固定資産が106千円減少しました。

これは、ソフトウェアの減価償却が進んだことによるものであります。

(ウ) 流動負債

流動負債は337,564千円となり、前連結会計年度末と比較して62,889千円増加(前期末比22.9%増)しました。主な科目の増減及び増減理由は次のとおりであります。

- ・新規借入により短期借入金が50,000千円増加しております。
- ・1年内返済予定の長期借入金が2,010千円減少しております。

これは金融機関への返済が進んだことによるものであります。

(エ)固定負債

固定負債は208,815千円となり、前連結会計年度末と比較して103,501千円減少（前期末比33.1%減）しました。主な科目別増減及び増減理由は次のとおりです。

- ・長期借入金が前連結会計年度末から94,599千円減少しました。

これは主に、金融機関への返済が進んだことによるものであります。

(カ)純資産

純資産は16,331千円となり、前連結会計年度末と比較して47,076千円減少しました。

これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失43,412千円の計上によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結計年度末と比較して98,461千円減少し、83,335千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は19,305千円（前年同期は獲得した資金21,772千円）となりました。これは主に、減価償却費の計上31,198千円、棚卸資産の減少による資金の増加15,613千円などがあつた一方で、売上債権の増加による資金の減少43,231千円、税金等調整前当期純損失の計上46,055千円などがあつたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は30,713千円（前年同期は使用した資金13,191千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出29,628千円があつたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は48,443千円（前年同期は使用した資金7,097千円）となりました。これは主に、短期借入金の増加50,000千円及び長期借入れによる収入40,000千円があつた一方で、長期借入金の返済による支出136,609千円などがあつたことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年3月期につきましては、歯科技工関連事業については、新たな販売先の開拓と既存販売先からの受注拡大に注力するものの、歯科技工材料の高騰やそれに伴う原材料不足の影響等の懸念もあり、売上高は当面横ばいで推移するものと考えております。

また、オーラルケア製品製造販売事業については、国内及び国外に対する新たな販路の獲得による収益の拡大を目指しており、また利益面では継続的に取り組んでいるコスト削減効果が表れつつあり、これらを引き続き遂行することによりセグメント利益の黒字化を目指してまいります。

また当連結会計年度より開始しているマウスピース矯正事業については、今後の収益の柱として育成すべく提携クリニックの増加と顧客満足度の向上を目指しており、グループ利益に貢献するものと見

込んでおります。

これらの結果、次期（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高1,065百万円、営業利益14百万円、経常利益11百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を見込んでおります。

当社グループは、引き続き既存事業である歯科技工関連事業及びオーラルケア製品製造販売事業における新たな販路の獲得と製造コスト等の見直しによる利益率の向上を図るとともに、新規事業であるマウスピース矯正事業の拡大、その他歯科関連ビジネスを中心とする新たな収入源となる新規事業の創出に努めてまいります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しました。当連結会計年度においても営業損失48,513千円、経常損失45,731千円、親会社株主に帰属する当期純損失43,412千円を計上しております。

当該状況により引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 歯科技工関連事業及びオーラルケア製品製造販売事業に次ぐ新たな収益源を獲得すべく、当連結会計年度より開始したマウスピース矯正事業の拡大、及びその他歯科関連ビジネスの立ち上げと育成に努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラクチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外からの資金調達を行っていないことから、会計基準につきましては日本基準を採用しております。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	181,797	83,335
受取手形及び売掛金	100,459	130,753
電子記録債権	21,266	34,204
商品及び製品	38,257	29,124
仕掛品	6,751	5,380
原材料及び貯蔵品	114,815	110,507
その他	22,552	18,233
貸倒引当金	△468	△13,245
流動資産合計	485,431	398,293
固定資産		
有形固定資産		
建物	226,791	227,261
減価償却累計額	△168,267	△172,227
建物(純額)	58,525	55,034
機械装置及び運搬具	399,002	396,249
減価償却累計額	△368,325	△376,955
機械装置及び運搬具(純額)	30,677	19,294
工具、器具及び備品	351,117	373,798
減価償却累計額	△339,054	△344,517
工具、器具及び備品(純額)	12,063	29,281
リース資産	43,066	37,891
減価償却累計額	△39,251	△35,751
リース資産(純額)	3,814	2,140
土地	48,352	48,352
有形固定資産合計	153,431	154,101
無形固定資産		
ソフトウェア	3,793	3,687
借地権	4,900	4,900
無形固定資産合計	8,693	8,587
投資その他の資産		
破産更生債権等	121,911	121,954
その他	2,843	1,730
貸倒引当金	△121,911	△121,954
投資その他の資産合計	2,843	1,730
固定資産合計	164,969	164,418
資産合計	650,400	562,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,088	65,523
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	106,513	104,503
リース債務	1,834	1,412
未払金	23,664	29,104
未払法人税等	1,639	938
未払消費税等	3,899	11,778
前受金	4,800	—
賞与引当金	4,780	5,167
その他	17,453	19,137
流動負債合計	274,674	337,564
固定負債		
長期借入金	278,551	183,952
リース債務	2,354	941
繰延税金負債	4,515	3,754
退職給付に係る負債	24,857	18,127
資産除去債務	2,040	2,040
固定負債合計	312,317	208,815
負債合計	586,992	546,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,984	67,984
資本剰余金	30,000	30,000
利益剰余金	△61,692	△105,105
株主資本合計	36,292	△7,120
非支配株主持分	27,116	23,452
純資産合計	63,408	16,331
負債純資産合計	650,400	562,712

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	897,960	859,872
売上原価	642,866	593,191
売上総利益	255,093	266,680
販売費及び一般管理費	299,512	315,194
営業損失(△)	△44,418	△48,513
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
為替差益	44	556
作業くず売却益	5,845	4,516
助成金収入	12,568	160
その他	6,878	5,625
営業外収益合計	25,342	10,861
営業外費用		
支払利息	5,891	7,100
その他	230	979
営業外費用合計	6,121	8,080
経常損失(△)	△25,197	△45,731
特別利益		
子会社株式売却益	107,654	—
固定資産売却益	—	19
貸倒引当金戻入	—	50
特別利益合計	107,654	69
特別損失		
固定資産除却損	364	—
貸倒引当金繰入額	107,158	393
特別損失合計	107,522	393
税金等調整前当期純損失(△)	△25,066	△46,055
法人税、住民税及び事業税	1,954	1,782
法人税等調整額	△503	△761
法人税等合計	1,451	1,021
当期純損失(△)	△26,517	△47,076
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	609	△3,663
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△27,126	△43,412

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純損失(△)	△26,517	△47,076
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,724	—
その他の包括利益合計	△3,724	—
包括利益	△30,242	△47,076
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△30,851	△43,412
非支配株主に係る包括利益	609	△3,663

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△34,565	63,419
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△27,126	△27,126
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△27,126	△27,126
当期末残高	67,984	30,000	△61,692	36,292

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,724	3,724	26,506	93,650
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△27,126
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,724	△3,724	609	△3,115
当期変動額合計	△3,724	△3,724	609	△30,242
当期末残高	—	—	27,116	63,408

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	67,984	30,000	△61,692	36,292
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△43,412	△43,412
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△43,412	△43,412
当期末残高	67,984	30,000	△105,105	△7,120

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	27,116	63,408
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△43,412
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,663	△3,663
当期変動額合計	△3,663	△47,076
当期末残高	23,452	16,331

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△25,066	△46,055
減価償却費	30,417	31,198
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103,533	12,820
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,820	387
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,074	△1,520
受取利息及び受取配当金	△4	△4
助成金収入	△12,568	△160
支払利息	5,891	7,100
子会社株式売却益	△107,654	—
固定資産売却益	—	△19
固定資産除却損	364	—
売上債権の増減額(△は増加)	42,382	△43,231
棚卸資産の増減額(△は増加)	△935	15,613
仕入債務の増減額(△は減少)	5,971	5,434
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△1,404	△43
為替差損益(△は益)	△44	—
その他	△20,984	6,460
小計	16,151	△12,019
利息及び配当金の受取額	4	4
助成金の受取額	12,988	1,102
利息の支払額	△5,888	△5,909
法人税等の支払額	△1,483	△2,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,772	△19,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,921	△29,628
有形固定資産の売却による収入	—	19
無形固定資産の取得による支出	△440	△2,133
長期貸付金の回収による収入	1,110	910
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却に伴う支出	△539	—
その他	△400	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,191	△30,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	△55,053	△136,609
リース債務返済による支出	△2,044	△1,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,097	△48,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	203	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,687	△98,461
現金及び現金同等物の期首残高	180,110	181,797
現金及び現金同等物の期末残高	181,797	83,335

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しました。当連結会計年度においても営業損失48,513千円、経常損失45,731千円、親会社株主に帰属する当期純損失43,412千円を計上しております。

当該状況により引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消し又は改善すべく、以下の対応策に取り組み、安定した収益基盤の確立、コスト削減および資金調達等による、財務基盤の強化を目指してまいります。

具体的には次のとおりであります。

1. 歯科技工関連事業及びオーラルケア製品製造販売事業に次ぐ新たな収益源を獲得すべく、当連結会計年度より開始したマウスピース矯正事業の拡大、及びその他歯科関連ビジネスの立ち上げと育成に努めてまいります。
2. イオン歯ブラシの製造販売を行っているアイオニック株式会社との連携によって、収益基盤の拡大とシナジー効果の創出に努めてまいります。
3. 主要取引先であり、前述のアイオニック株式会社への共同出資を実施した株式会社シケンと引き続き緊密に連携し、収益拡大を図ってまいります。
4. 人件費を含めた経費の全面的見直しを実施、不採算部門の縮小等リストラチャリングを積極的に推進し、キャッシュ・フローの最大化を目指してまいります。
5. 財務状態の改善を目指し、新たなファイナンスの検討を実施、同時に借入金等その他の資金調達についても進めてまいります。

以上の対応策を中心とした経営の効率化を図り、安定的な収益基盤を構築すべく努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上であり、計画が全て順調に推移するとは限らず、不測の事態も考えられることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「歯科技工関連事業」、「オーラルケア製品製造販売事業」及び「マウスピース矯正事業」の3つを報告セグメントとしております。「歯科技工関連事業」は提携歯科技工所及び歯科クリニックから依頼される歯科技工物の製作受注を中心に、歯科技工関連商品（歯科技工材料、歯科技工機械）の販売も実施しております。「オーラルケア製品製造販売事業」は、イオン歯ブラシの製造販売を中心に、オーラルケア製品の製造販売を行っております。また「マウスピース矯正事業」はマウスピース矯正サービスを提供する提携歯科クリニックに対し、マウスピース等の歯科技工製品に関する技術的アドバイス及びサポート業務を実施しております。



なお当社グループは、当連結会計年度より新規事業としてマウスピース矯正サービスを開始したため、従来の「歯科技工関連事業」及び「オーラルケア製品製造販売事業」に新たに「マウスピース矯正事業」を加えて3つの報告セグメントとすることに変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、「マウスピース矯正事業」が当連結会計年度より開始されたことから開示を行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア製 品製造販売事業			
売上高					
歯科技工	230,415	—	230,415	—	230,415
歯科技工商品・製品販売	53,854	—	53,854	—	53,854
歯科関連商品販売	36,266	—	33,266	—	36,266
オーラルケア製品製造販売	—	577,425	577,425	—	577,425
顧客との契約から生じ る収益	320,535	577,425	897,960	—	897,960
その他収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	320,535	577,425	897,960	—	897,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,224	—	11,224	△11,224	—
合計	331,759	577,425	909,185	△11,224	897,960
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△18,625	2,974	△15,651	△28,767	△44,418
セグメント資産	146,280	501,738	648,019	2,381	650,400
その他の項目					
減価償却費	6,442	23,975	30,417	—	30,417
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,848	10,513	13,361	—	13,361

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△28,767千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額2,381千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	歯科技工関連 事業	オーラルケア 製品製造販売 事業	マウスピース 矯正事業			
売上高						
歯科技工	206,060	—	—	206,060	—	206,060
歯科技工商品・製品販売	52,523	—	—	52,523	—	52,523
歯科関連商品販売	30,080	—	—	30,080	—	30,080
オーラルケア製品製造販売	—	530,425	—	530,425	—	530,425
マウスピース矯正サービス	—	—	40,782	40,782	—	40,782
顧客との契約から生じ る収益	288,663	530,425	40,782	859,872	—	859,872
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	288,663	530,425	40,782	859,872	—	859,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,323	—	—	11,323	△11,323	—
合計	299,987	530,425	40,782	871,195	△11,323	859,872
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△27,637	△11,317	19,046	△19,907	△28,605	△48,513
セグメント資産	120,848	440,082	—	560,930	1,781	562,712
その他の項目						
減価償却費	5,937	25,261	—	31,198	—	31,198
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,727	30,034	—	31,761	—	31,761

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△28,605千円は、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額1,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社  
 資産は、主に報告セグメントに帰属しない子会社の現預金であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	△340.63円	△448.82円
1株当たり当期純損失(△)	△66.70円	△106.91円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	63,408	16,331
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	201,934	198,271
(うち種類株式の払込金額(千円))	(174,818)	(174,818)
(うち非支配株主持分(千円))	(27,116)	(23,452)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	△138,526	△181,939
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	406,666	405,366

3 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△27,126	△43,412
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△27,126	△43,412
普通株式の期中平均株式数(株)	406,666	406,059
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

4 1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当連結会計年度1,300株であります。また、1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当連結会計年度607株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。